

平成 24 年静岡県鉱工業指数の動向

生産、出荷は 2 年ぶりに上昇、在庫は 2 年連続して上昇

企画広報部 統計調査課

静岡県では、県内の製造業の生産高、出荷高、在庫高等を調査し、「静岡県鉱工業指数月報」を毎月公表しております。このたび、実績値を年間補正するとともに、5年に1回の基準改定による基準年の見直し（平成17年→平成22年）を反映した「静岡県鉱工業指数年報」をとりまとめたので、その概要を掲載します。

1 概 況

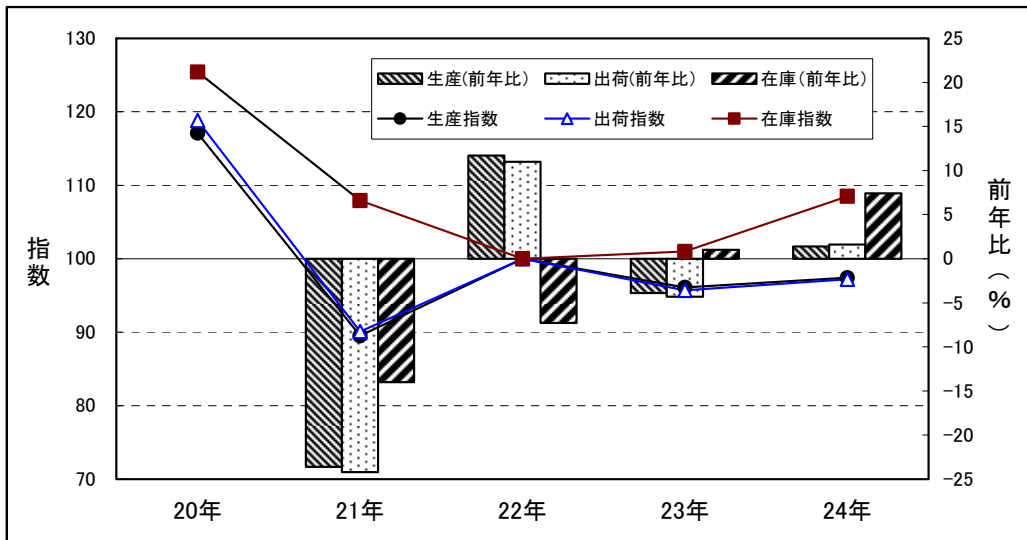
～生産、出荷、在庫ともに上昇～

本県の平成24年の鉱工業指数は、生産が97.4で前年比1.4%の上昇、出荷が97.2で前年比1.6%の上昇、在庫が108.5で前年比7.4%の上昇となった。

一方、全国の平成24年の鉱工業指数は、生産が97.8で前年比0.6%の上昇、出荷が97.5で前年比1.2%の上昇、在庫が110.5で前年比5.2%の上昇となった。

鉱工業指数と前年比の推移

(原指数:平成22年=100)



鉱工業指数の年次推移

(原指数:平成22年=100)

	生 産		出 荷		在 庫	
	静岡県	全 国	静岡県	全 国	静岡県	全 国
20年	117.1	110.7	118.8	110.6	125.4	116.5
21年	89.5	86.5	90.1	86.6	107.9	106.1
	(△23.6)	(△21.9)	(△24.2)	(△21.7)	(△14.0)	(△8.9)
22年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	(11.7)	(15.6)	(11.0)	(15.5)	(△7.3)	(△5.7)
23年	96.1	97.2	95.7	96.3	101.0	104.3
	(△3.9)	(△2.8)	(△4.3)	(△3.7)	(1.0)	(4.3)
24年	97.4	97.8	97.2	97.5	108.5	110.4
	(1.4)	(0.6)	(1.6)	(1.2)	(7.4)	(5.8)

下段()内は前年比(%)

2 生産の動向

～前年比で8業種が上昇、10業種が低下～

生産の年間の動きを四半期ごとの前期比でみると、24年Ⅰ期1.2%低下、Ⅱ期0.4%低下、Ⅲ期2.2%低下、Ⅳ期0.4%低下と23年Ⅳ期から5期連続で低下した。

また、年間の動きを四半期ごとの前年同期比でみると、Ⅰ期Ⅱ期はそれぞれ7.7%上昇、7.1%上昇と2期連続で前年を上回った後、Ⅲ期4.7%低下、Ⅳ期3.9%低下と2期連続で前年を下回った。

業種別の前年比をみると、19業種中、輸送機械工業、化学工業、電気機械工業等の8業種が上昇し、食料品・たばこ工業、はん用・生産用・業務用機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等の10業種が低下した。

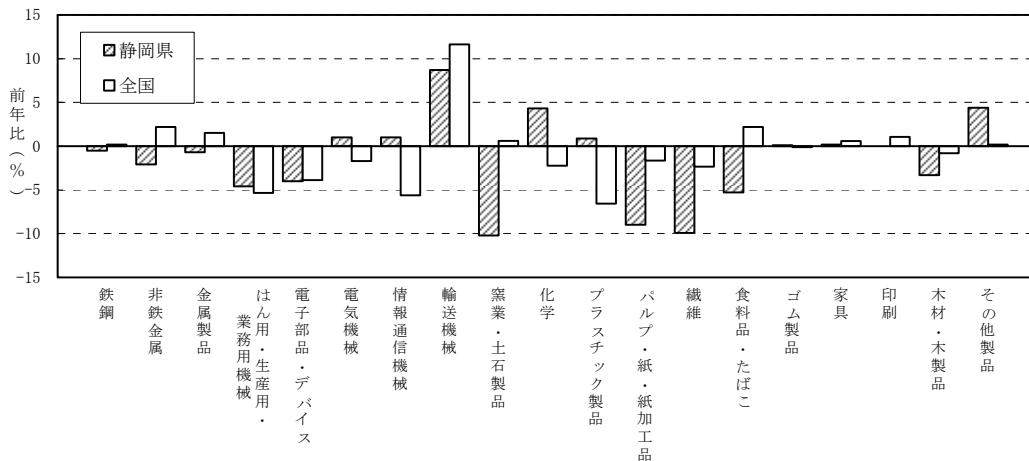
生産指数の四半期別推移

(平成22年=100)

		静岡県				全国	
		季節調整 済指数	前期比(%)	原指数	前年同期比(%)	季節調整 済指数	前期比(%)
20年	Ⅰ期	124.8	-	121.7	-	116.9	-
	Ⅱ期	119.6	△4.2	124.3	-	111.9	△4.3
	Ⅲ期	115.2	△3.7	114.5	-	112.0	0.1
	Ⅳ期	107.5	△6.7	107.9	-	102.0	△8.9
21年	Ⅰ期	87.5	△18.6	84.0	△31.0	78.1	△23.4
	Ⅱ期	89.3	2.1	92.8	△25.3	81.4	4.2
	Ⅲ期	88.2	△1.2	88.0	△23.1	89.9	10.4
	Ⅳ期	93.2	5.7	93.0	△13.8	96.6	7.5
22年	Ⅰ期	100.0	7.3	95.8	14.0	97.5	0.9
	Ⅱ期	99.2	△0.8	103.6	11.6	97.4	△0.1
	Ⅲ期	101.0	1.8	101.4	15.2	103.0	5.7
	Ⅳ期	100.1	△0.9	99.3	6.8	102.1	△0.9
23年	Ⅰ期	93.1	△7.0	88.3	△7.8	95.2	△6.8
	Ⅱ期	92.0	△1.2	96.6	△6.8	91.0	△4.4
	Ⅲ期	100.9	9.7	101.4	0.0	101.3	11.3
	Ⅳ期	99.9	△1.0	98.1	△1.2	101.2	△0.1
24年	Ⅰ期	98.7	△1.2	95.1	7.7	101.5	0.3
	Ⅱ期	98.3	△0.4	103.5	7.1	97.2	△4.2
	Ⅲ期	96.1	△2.2	96.6	△4.7	97.3	0.1
	Ⅳ期	95.7	△0.4	94.3	△3.9	95.2	△2.2

生産の業種別前年比

(原指数：平成22年=100)



生産の業種別動向

(原指数：平成22年=100)

上 昇		低 下	
業 種 (前年比%)	主 要 品 目 群	業 種 (前年比%)	主 要 品 目 群
輸送機械工業 (8.7)	自動車部品 特殊自動車 二輪自動車部品	食料品・たばこ業 (△5.3)	加工食品 酒類 菓子
化学工業 (4.3)	医薬品 その他の化学製品 プラスチック	はん用・生産用・業務用機械工業 (△4.6)	冷凍機・同応用製品 その他の生産用機械 はん用機械器具部品
電気機械工業 (1.0)	配線・照明用器具 電池 開閉制御装置	パルプ・紙・紙加工品工業 (△9.0)	印刷・情報用紙 板紙 包装用紙

※1 業種及び品目群の掲載は寄与率順。

※2 秘匿に該当する品目群は、主要品目群欄には掲載していない。

3 出荷の動向

～前年比で7業種が上昇、11業種が低下～

出荷の年間の動きを四半期ごとの前期比でみると、24年Ⅰ期は2.8%低下し、Ⅱ期は1.1%上昇したものの、Ⅲ期3.0%低下、Ⅳ期0.3%低下と2期連続で低下した。

また、年間の動きを四半期ごとの前年同期比でみると、Ⅰ期6.6%上昇、Ⅱ期10.0%上昇と23年Ⅳ期から3期連続で前年を上回った後、Ⅲ期4.1%低下、Ⅳ期5.0%低下と2期連続で前年を下回った。

業種別の前年比をみると、19業種中、輸送機械工業、化学工業、電気機械工業等の7業種が上昇し、はん用・生産用・業務用機械工業、食料品・たばこ工業、パルプ・紙・紙加工品工業等の11業種が低下した。

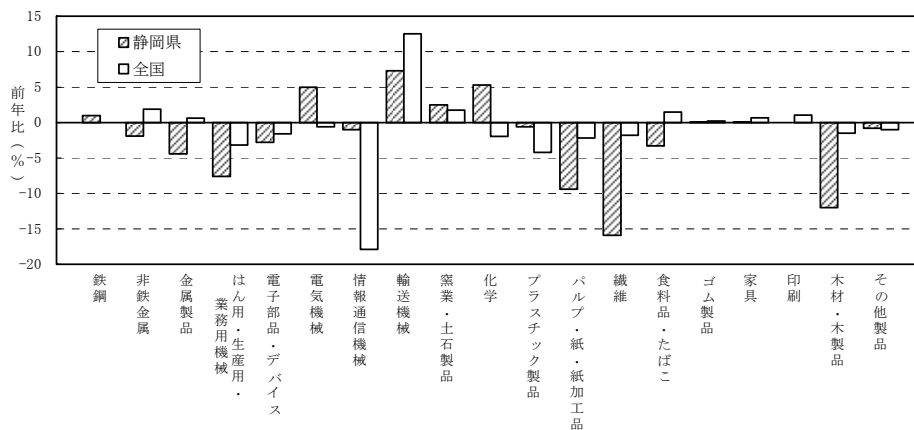
出荷指数の四半期別推移

(平成22年=100)

		静岡県				全国	
		季節調整 済指数	前期比(%)	原指数	前年同期比(%)	季節調整 済指数	前期比(%)
20年	Ⅰ期	128.0	-	128.4	-	118.8	-
	Ⅱ期	122.1	△4.6	123.2	-	110.7	△6.8
	Ⅲ期	116.9	△4.3	116.7	-	111.8	1.0
	Ⅳ期	106.6	△8.8	106.8	-	101.0	△9.7
21年	Ⅰ期	88.9	△16.6	87.6	△31.8	79.5	△21.3
	Ⅱ期	89.5	0.7	90.4	△26.6	80.0	0.6
	Ⅲ期	88.1	△1.6	88.5	△24.2	90.3	12.9
	Ⅳ期	94.2	6.9	93.7	△12.3	96.7	7.1
22年	Ⅰ期	100.8	7.0	99.2	13.2	99.2	2.6
	Ⅱ期	100.8	0.0	102.3	13.2	96.5	△2.7
	Ⅲ期	101.2	0.4	102.1	15.4	102.8	6.5
	Ⅳ期	97.4	△3.8	96.3	2.8	101.5	△1.3
23年	Ⅰ期	93.7	△3.8	91.1	△8.2	96.2	△5.2
	Ⅱ期	90.0	△3.9	91.9	△10.2	87.5	△9.0
	Ⅲ期	99.8	10.9	100.9	△1.2	100.7	15.1
	Ⅳ期	100.6	0.8	98.7	2.5	100.7	0.0
24年	Ⅰ期	97.8	△2.8	97.1	6.6	101.9	1.2
	Ⅱ期	98.9	1.1	101.1	10.0	96.5	△5.3
	Ⅲ期	95.9	△3.0	96.8	△4.1	97.1	0.6
	Ⅳ期	95.6	△0.3	93.8	△5.0	94.3	△2.9

出荷の業種別前年比

(原指数：平成22年=100)



出荷の業種別動向

(原指数：平成22年=100)

上 昇		低 下	
業 種 (前年比%)	主 要 品 目 群	業 種 (前年比%)	主 要 品 目 群
輸送機械工業 (7.3)	自動車部品 二輪自動車部品 特殊自動車	はん用・生産用・ 業務用機械工業 (△7.6)	冷凍機・同応用製品 その他の生産用機械 はん用機械器具部品
化学工業 (5.3)	その他の化学製品 医薬品 プラスチック	食料品・たばこ 工 業 (△3.3)	加工食品 酒類 菓子
電気機械工業 (5.0)	電池 配線・照明用器具 開閉制御装置	パルプ・紙・ 紙加工品工業 (△9.4)	印刷・情報用紙 板紙 包装用紙

※1 業種及び品目群の掲載は寄与率順。

※2 秘匿に該当する品目群は、主要品目群欄には掲載していない。

4 在庫の動向

～前年比で13業種が上昇、3業種が低下～

在庫の年間の動きを四半期ごとの前期比で見ると、24年Ⅰ期2.3%上昇、Ⅱ期4.6%上昇と23年Ⅱ期から5期連続で上昇した後、Ⅲ期に1.8%低下し、Ⅳ期は2.6%上昇した。

また、年間の動きを四半期ごとの前年同期比で見ると、Ⅰ期8.0%上昇、Ⅱ期8.8%上昇、Ⅲ期5.2%上昇、Ⅳ期7.8%上昇と、23年Ⅱ期から7期連続で前年を上回った。

業種別の前年比をみると、電子部品・デバイス工業、情報通信機械工業及び印刷業を除く16業種中、化学工業、はん用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業等の13業種が上昇し、プラスチック製品工業、食料品・たばこ工業、家具工業等の3業種が低下した。

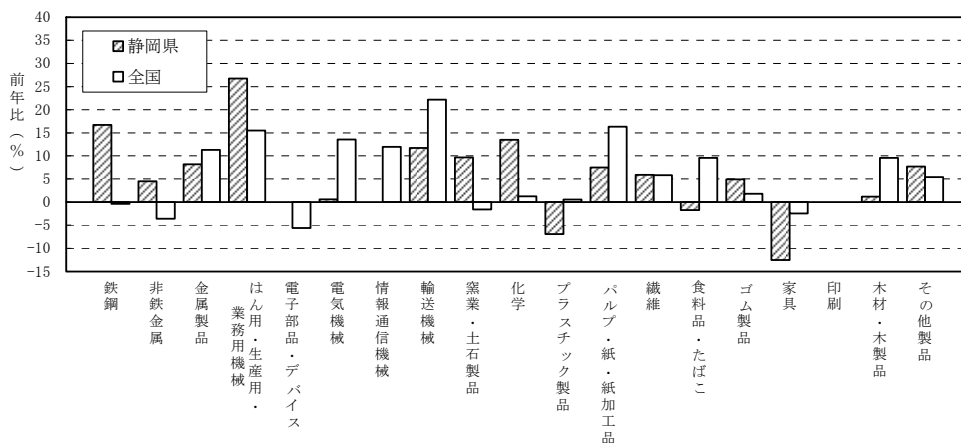
在庫指数の四半期別推移

(平成22年=100)

		静岡県				全国	
		季節調整 済指数	前期比(%)	原指数	前年同期比(%)	季節調整 済指数	前期比(%)
20年	Ⅰ期	130.7	-	131.5	-	117.0	-
	Ⅱ期	122.4	△6.4	119.4	-	112.3	△4.0
	Ⅲ期	124.1	1.4	122.9	-	115.1	2.5
	Ⅳ期	124.0	△0.1	127.7	-	121.4	5.5
21年	Ⅰ期	118.8	△4.2	119.1	△9.4	116.8	△3.8
	Ⅱ期	110.6	△6.9	108.4	△9.2	104.2	△10.8
	Ⅲ期	107.8	△2.5	107.1	△12.9	102.0	△2.1
	Ⅳ期	94.3	△12.5	96.8	△24.2	101.4	△0.6
22年	Ⅰ期	98.3	4.2	97.8	△17.9	101.3	△0.1
	Ⅱ期	101.0	2.7	99.6	△8.1	98.2	△3.1
	Ⅲ期	99.6	△1.4	99.0	△7.6	98.3	0.1
	Ⅳ期	101.2	1.6	103.6	7.0	102.2	4.0
23年	Ⅰ期	96.8	△4.3	96.0	△1.8	102.9	0.7
	Ⅱ期	101.5	4.9	100.7	1.1	100.9	△1.9
	Ⅲ期	102.6	1.1	101.9	2.9	106.0	5.1
	Ⅳ期	102.8	0.2	105.4	1.7	107.5	1.4
24年	Ⅰ期	105.2	2.3	103.7	8.0	108.2	0.7
	Ⅱ期	110.0	4.6	109.6	8.8	108.4	0.2
	Ⅲ期	108.0	△1.8	107.2	5.2	112.0	3.3
	Ⅳ期	110.8	2.6	113.6	7.8	113.0	0.9

在庫の業種別前年比

(原指数：平成22年=100)



在庫の業種別動向

(原指数：平成22年=100)

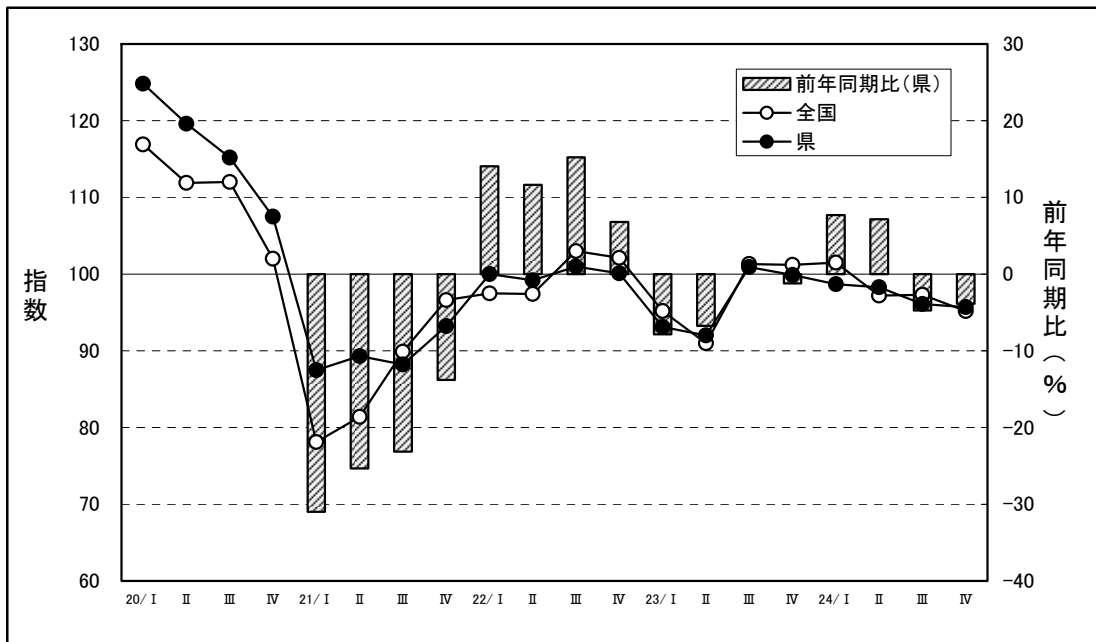
上 昇		低 下	
業 種 (前年比%)	主 要 品 目 群	業 種 (前年比%)	主 要 品 目 群
化学工業 (13.5)	その他の化学製品 プラスチック	プラスチック製品 (△6.9)	工業用プラスチック製品 プラスチック製フィルム等 その他のプラスチック製品
はん用・生産用・業務用機械工業 (26.7)	金属工作機械 その他の生産用機械 医療用機械器具・計測機器	食料品・たばこ (△1.7)	酒類 茶・コーヒー 清涼飲料
輸送機械工業 (11.7)	特殊自動車	家具工業 (△12.5)	金属製家具 木製家具

※1 業種及び品目群の掲載は寄与率順。

※2 秘匿に該当する品目群は、主要品目群欄には掲載していない。

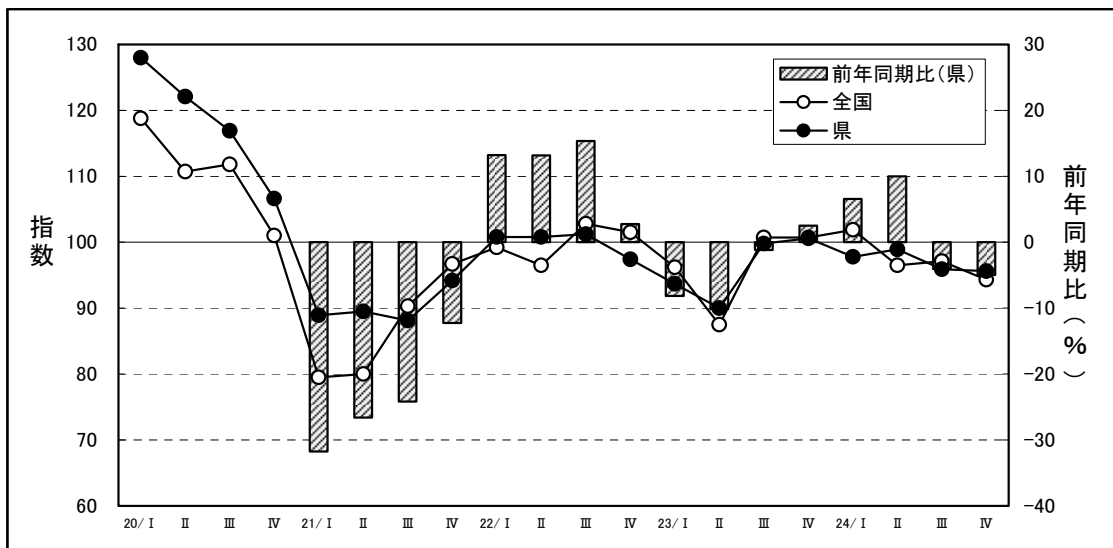
生産指数の四半期別推移

(季節調整済指数：平成22年=100)



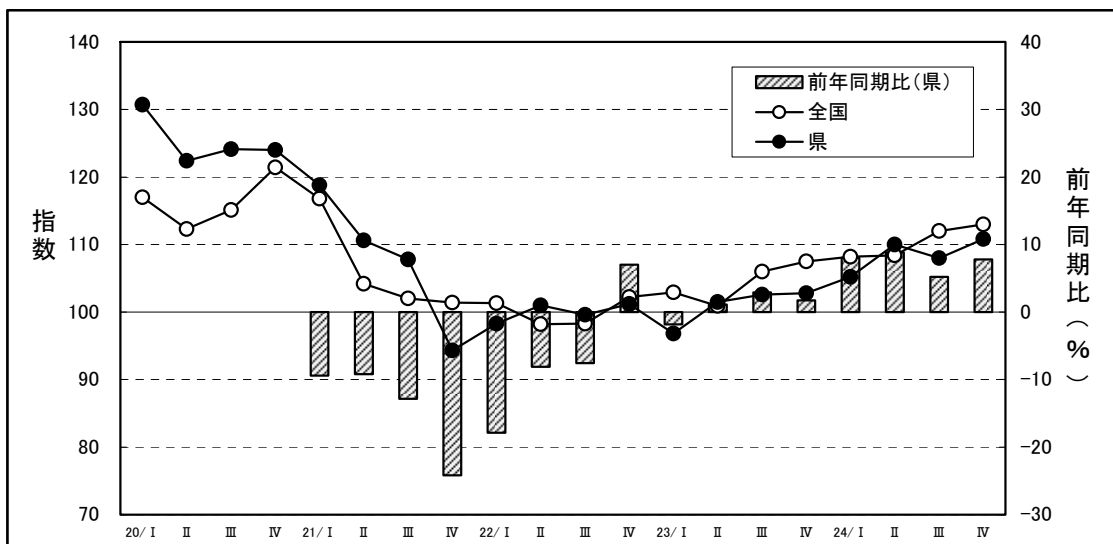
出荷指数の四半期別推移

(季節調整済指数：平成22年=100)



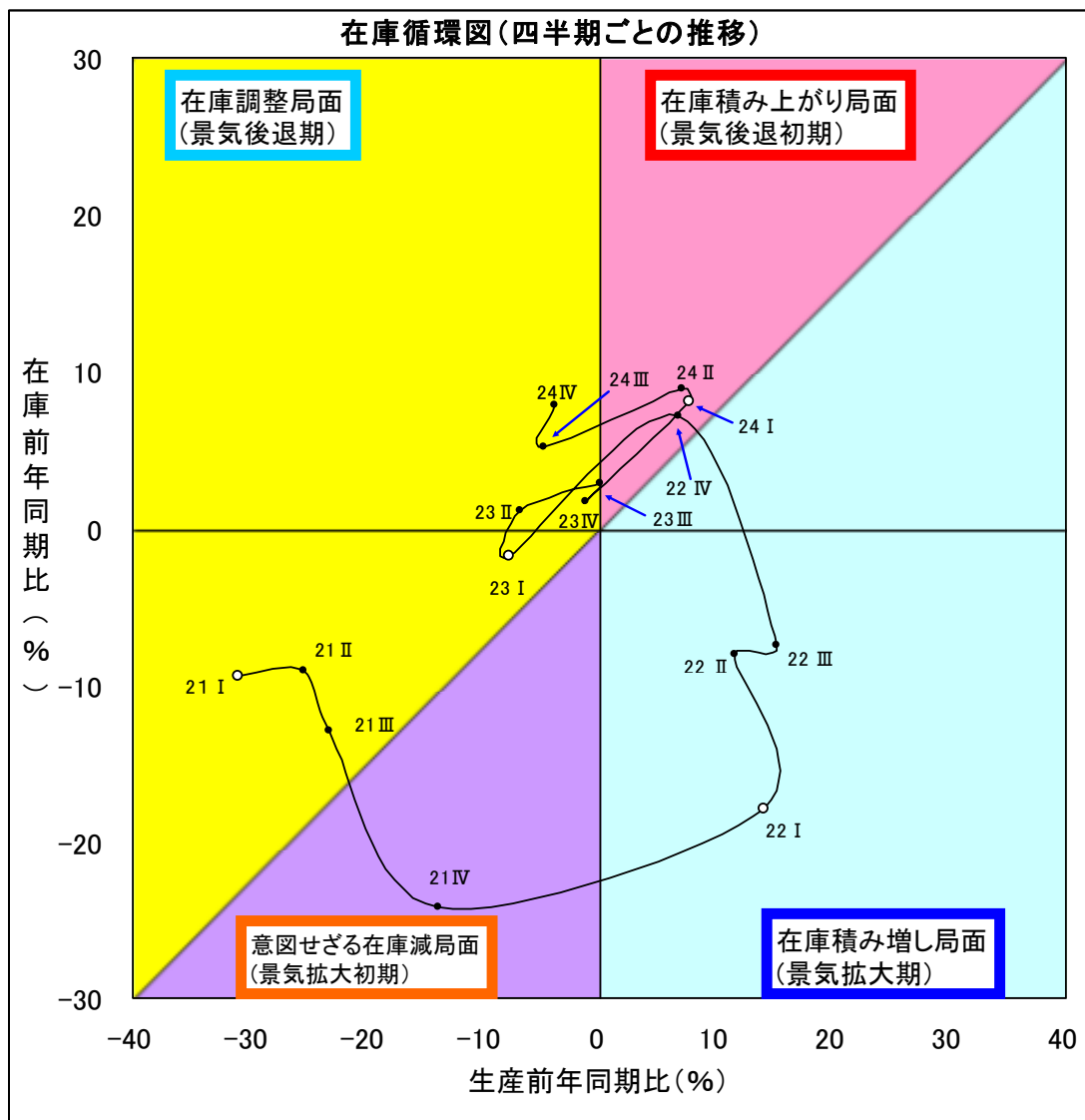
在庫指数の四半期別推移

(季節調整済指数：平成22年=100)



在庫循環は、平成 24 年 I 期、II 期は「在庫積み上がり面」であったが、III 期、IV 期は「在庫調整局面」に移った。

在庫循環図



- ・在庫積み増し局面(景気拡大期)

需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。

- ・在庫積み上がり局面(景気後退初期)

供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。

- ・在庫調整局面(景気後退期)

適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を押さえ、在庫調整を図る。

- ・意図せざる在庫減局面(景気拡大初期)

需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。